

うぐいす

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから



いっぱいお米が
とれますように



- ▶ 6月定例会 P2
- ▶ 臨時会・請願審査 P3
- ▶ 委員会報告・議会活動 P5～
- ▶ 町政を問う 一般質問 P8～

第77号

2025.8

請願審査
第1号

2026年度政府予算、地方財政の検討にあたり、「地方財政の充実・強化を求める意見書」提出を求める。(自治労筑前町職員労働組合)

総務建設常任委員会に審査を付託

意見書採択 (全会一致)
国の関係機関へ意見書を提出



5/20
(火)

令和7年第2回
臨時会

5月20日の1日間の日程で開催。
同意1件・報告1件・承認2件・議案2件が提案
され、審議の結果承認・可決した。

報告第1号

令和6年度筑前町下水道事業会計予算の繰越について
地方公営企業法第26条第3項の規定により、雨水出水浸水想定区域図作成及び
雨水管理方針策定業務2970万円のうち1364万円の繰越しを報告するもの。

- ◎筑前町国民健康保険税条例の一部改正
(主な改正点)
- 令和7年4月1日から施行
- 基礎課税額分の課税限度額を現行「65万円」から「66万円」へ、後期高齢者支援金分課税限度額を現行「24万円」から「26万円」へ改正し、改正なしの介護分と合わせ、全体で賦課限度額が「106万円」から「109万円」となる
 - 5割軽減の対象となる世帯の軽減判定の基準額を「29万5000円」から「30万5000円」へ改正
 - 2割軽減の対象となる世帯の軽減判定の基準額を「54万5000円」から「56万円」へ改正
- ◎筑前町税条例の一部改正
(主な改正点)
- 令和7年4月1日から施行
- 個人住民税の所得控除において、特定親族特別控除の創設
 - 原動機付自転車のうち二輪のもので、総排気量が125cc以下かつ最高出力が4.0キロワット以下のものを新設し、年額2000円とする
- 令和8年4月1日から施行
- 加熱式たばこに係る市町村たばこ税の標準特別規定を新設

人事の紹介

- 監査委員(再任) ふるやま しゅうじ 古山 修治 氏
- 選挙管理委員会(委員)
- まえだ よしのり 前田 義徳 氏
くらち のりこ 倉地 典子 氏
- いちのみや ふくみ 一ノ宮 富久美 氏
しまむら ひさお 島村 久雄 氏
- 選挙管理委員会(補充員)
- かみもと ひろみ 神本 浩美 氏
くわの よしゆき 桑野 泰行 氏
- おかまつ あきこ 岡松 明子 氏
いわた ゆみこ 岩下 裕見子 氏

◎筑前町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正
める条例の一部を改正

◎筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

(改正の内容)

保育内容支援と代替保育の提供について、連携施設の確保が著しく困難で、連携協力者が必要な支援を行うことができると町が認めた場合は、保育内容支援と代替保育の提供に係る連携施設の確保を求めない措置を設けるもの。

6月定例会

6月6日から13日の8日間の日程で開催。報告2件・同意1件・議案13件・
発議1件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。



石丸 時次郎 議長

令和7年度 一般会計予算(第1号)

8億3894万円を増額

補正後の予算総額：161億5393万円

予算増の主なもの

定額減税不足額給付支援事業

9900万円

定額減税給付額等の増

交通安全施設整備事業

1000万円

カーブミラー等整備費の増

学童保育事業

1833万円

中牟田小学校学童保育所新築工事の増

特定教育・保育施設等給付事務

1216万円

町内保育所等へ給食費の支援

消防施設維持管理業務

3363万円

消防団・第2分団ポンプ車の更新など

防災備蓄品管理業務

7963万円

防災備品(パーテーション、発電機等)の購入

福岡県麦・大豆生産技術向上事業

1億6155万円

農業用機械・施設整備導入補助金

農村環境整備事業

2780万円

ため池土砂撤去等の測量設計委託

商工業振興事業事務

1600万円

ちくぜん食の仕送り便事業補助金

道路新設改良事業

2380万円

町道4路線の舗装・改良工事

河川維持管理業務

1642万円

河川の浚渫等の維持工事費

スポーツ施設等維持管理業務

7133万円

三輪小学校グラウンド照明のLED化

新人事の紹介

◆副町長

いわした さだ のり 岩下 定徳 氏

条例の制定・改正(主なもの)

・筑前町体育施設設置条例の一部を改正する条例(公布の日から施行)
町営三輪グラウンドの使用を月曜日も可能とするもの。

第2次筑前町総合計画後期基本計画を可決

令和7年から令和11年の町の将来像や町づくりの理念を定めた基本計画(案)が
提案され可決された。

委員会の活動報告

令和7年6月定例会時に、議場において各委員会の委員長が活動報告をしました。

総務建設常任委員会

新しく総務建設常任委員会のメンバーが決定いたしました。これから2年間、委員活動を共に行っていきます。

第二の活動は、令和5年度から取り組んできました、多面的機能支払制度における長寿命化に関する案件です。各、関係団体へのアンケート調査結果をもとに、要点をまとめ要望書を作成しました。この要望案件を、実のあるものとするため、手続きの方法を決定し、次の段階へと進めていきます。

次に、令和7年度から新に取り組む活動は、町道について、さまざまな観点から研究し、提言という形にしていこうと考えています。

委員会での検証、研究としては、主に1級、2級町道を考えていますが、その他町道に関しても、地元や学校



総務建設常任委員会
委員長 柳 雅明

PTAからの要望箇所など視察点検を実施して、考察していきたいと考えています。
人の生活に欠かせないのは道です。今、この道は高度に文明が発達した現在、その役割は多岐にわたっています。また、そこには様々な問題を発生させる要因も含まれています。
しかし、この道が町づくりの基本として、環境が良く生活しやすい町であり続けたいものです。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会の活動方針を発表します。今年度は2名の新メンバーが入れ替わり、協力し合い、活動を行っていきます。

定例委員会では今年度の活動方針を決定しました。①教育分野の視察等②教育以外の所管分野の活動・視察③委員会の定例化を柱に活動する事としました。

前期の活動として町内3校(東小田・中牟田・三輪)の各小学校を教育委員会と訪問し(6月・7月)、授業参観等を行います。また後期に、未訪問の学校の視察を予定しています。

二、委員会の定例化
毎月の委員会では各委員より意見を出し合い、教育現場以外の問題点等を洗い出し、課題等を分析し、地域視察等を計画しています。
あながち、教育分野が主



文教厚生常任委員会
委員長 河内 直子

となりがちですが、環境・子育て・福祉等、多岐にわたる諸課題に真摯に向き合い、持続的に研究を重ねていきます。
「課題は現状にある」を念頭に置き、訪問・視察を行う事が出来る様に委員の力を結集し、切れ目のない活動を行って行きます。

議決結果

令和7年 第2回定例会

区分	審議結果	議員名 議案名	平田	原田	池松	原口	原田	木村	石橋	柳	山本	奥村	山本	河内	寺原
			英司	邦男	和彦	博文	宏	和彦	里美	雅明	一洋	忠義	久矢	直子	裕明
報告		令和6年度筑前町一般会計予算の繰越明許費の繰越について	報告のみ												
		令和6年度筑前町工業用地造成事業特別会計予算の繰越明許費の繰越について	報告のみ												
条例	可決	筑前町体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和7年度筑前町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和7年度筑前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		令和7年度筑前町工業用地造成工事特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	第2次筑前町総合計画後期基本計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負変更契約の締結について(四三嶋地区工業用地造成工事(4-2工区))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負変更契約の締結について(四三嶋地区工業用地造成工事(4-3工区))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結について(後田1号線道路改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結について(東小田小学校南側校舎外壁・屋上防水改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結について(中牟田小学校南側校舎外壁・屋上防水改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について(給食調理室厨房機器等更新事業)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意	筑前町副町長の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和7年 第2回臨時会

区分	審議結果	議員名 議案名	平田	原田	池松	原口	原田	木村	石橋	柳	山本	奥村	山本	河内	寺原
			英司	邦男	和彦	博文	宏	和彦	里美	雅明	一洋	忠義	久矢	直子	裕明
専決	承認	専決処分を報告し、承認を求めることについて(筑前町税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		専決処分を報告し、承認を求めることについて(筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●	○
条例	可決	筑前町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
		筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
人事	同意	筑前町監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
報告		令和6年度筑前町下水道事業会計予算の繰越について	報告のみ												

議長 石丸時次郎は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

広報特別委員会

議会広報特別委員会の活動報告を行います。広報委員会では6人のメンバーで、年に4回、議会広報紙「うぐいす」を発行しています。うぐいす75号では、かがし祭りでのシニアクラブ連合会の皆さんを表紙とし、合併20周年記念特集として歴代議長経験者の方の文章「振り返る筑前町議会」を掲載しました。うぐいす76号では、模擬火災訓練時の消防団活動を表紙とし、議会の新体制の紹介として新議長の紹介、各常任委員会・特別委員会の新体制を紹介しました。また「議会活動」として文教厚生常任委員会による東小田小学校・中牟田小学校の新校舎視察、高校生議会に向けた意見交換会の模様を掲載しました。



議会広報特別委員会
委員長 池松 和彦

その他の活動としては草場川桜並木でのアンケート調査、上高場藤まつりでの撮影を行う等、町の行事やイベントに参加しています。今後も地域に密着した広報活動を行うと共に、広報誌作成を通して議員力アップのための取り組みも行なって参りたいと思います。

主要施策の説明会(各常任委員会)

6月26日(木)、27日(金)の二日間にわたり各議員が総務建設常任委員会・文教厚生常任委員会に分かれ令和7年度の町の主要施策について各課より説明を受け、一年間の町の重要なあり方について熱心な討議を行いました。



総務建設常任委員会



文教厚生常任委員会

議会活動

学校視察を行いました。(文教厚生常任委員会)

文教厚生常任委員会では令和7年6月～7月に町内の東小田小学校・中牟田小学校・三輪小学校の3校の訪問視察と授業参観を教育委員会と実施しました。

各小学校より学校の現状説明と授業実態を参観しました。

- (内容) ・各小学校の現状と課題
・各クラスの授業参観

今年度1年間で残りの学校について訪問視察と参観を計画しています。



中牟田小学校



三輪小学校



東小田小学校

東小田小学校2年生のみなさん
議場へようこそ

東小田小学校の児童の皆さん(87名)が6月24日(火)に「生活科の町たんけん」の一環として、「筑前町議会議場」の見学に来ました。

議場内を案内し、「どんな仕事をしているのか?」「どんなことを話しているのか?」等、たくさんの質問ありがとうございました。

議会が身近に感じられたのではないかと思います。

その後
どうなった?

議会の一般質問で「その後どうなった?」

- ★コンビニ交付導入実現
令和6年5月より住民票写し、印鑑登録証明書発行
- ★带状疱疹ワクチン接種助成を
令和6年度助成・・・3千円(生ワクチン)、1万円(不活化ワクチン)
- ★聴覚機能低下の方へ軟骨伝導イヤホン導入を
令和6年10月より窓口設置(本庁住民課、健康課、福祉課、税務課)

新議員紹介



4月13日の議会議員補欠選挙にて、選出されました野町区の方

平田 英司 61歳であります。

39歳の時脱サラをし、専業農家で普通作と施設栽培でアスパラガスを栽培しています。

先代先輩たちが守ってきた筑前町の自然豊かなこの地を守り後世に繋いで行くことが私達の使命だと思い、食育を通じ子供たちに引き継いでいきたいと頑張っています。

一般質問

町政のここが聞きたい!



6月議会定例会では、7名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告・説明を求めました。

※一般質問に関する記事は質問者自身で作成しています。

発言の全内容(録画配信)は下記のQRコードからアクセスできます。

- ◆ 柳 雅明 議員……………P9
 - ・「山の相談窓口」の設置を考える
 - ・「森林委員会」の設置を考える
 - ・「河川の除草作業」の現在
 - ・「コスモスの種」配布
- ◆ 寺原 裕明 議員……………P13
 - ・町政に対する住民の意識向上を図る取り組みについて
 - ・町職員が安心して働くことができる職場づくりについて
- ◆ 平田 英司 議員……………P10
 - ・選挙投票率の低迷改善について
 - ・筑前クロダマルの生産販売について
 - ・めくばーる学習館のピアノ利用について
- ◆ 原田 宏 議員……………P14
 - ・観光資源の整備について
 - ・美しい町の景観形成について
- ◆ 石橋 里美 議員……………P11
 - ・高齢者等の健康寿命延伸のための取り組みについて
- ◆ 河内 直子 議員……………P15
 - ・暮らしを守る取り組みについて
- ◆ 奥村 忠義 議員……………P12
 - ・住民の暮らしについて

令和7年9月定例会日程(予定)

9月5日(金)～9月19日(金)

一般質問 9月9日(火)・10日(水)

決算審査特別委員会 9月16日(火)～18日(木)

※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、8月26日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。

6月定例会
ライブ配信アクセス数
371件



議会映像の
配信は
こちらから

「山の相談窓口」の設置を

現在、来庁や電話相談で対応

やなぎ まさ あき
柳 雅明
議員



山林所有者からの相談

柳 「山の管理ができないので、どうすればよいですか」この相談がきつだけで、質問の構想ができなかった。植林した樹木は成長し立派な大木になっている。しかし、林道はなく、伐採用の道を新たに作らなければならない。大型機械や車両が通れる道でなければならぬ。これは、木材単価が安価なため、機械化した伐採方法でなければ利益が出ない。単に固定資産税だけを払うだけなら売却してしまいたい。

様々な山の問題で誰に相談してよいかわからない。今後を不安に感じている方に「山の相談窓口」を設置できないか。

農林商工課長

現状、山林所有者からの相談は、来庁や、電話で対応している。主な相談内容は、所有林の位置や相続・売買について等。町としても森林整備を推進し、森林の持つ多面的機能の回復や維持向上を目指している。相談を実施している旨の周知を、HPや広報誌にて定期的に発信して行きたい。

森林委員会の設置を考える

柳 山林の売買は、農地法に比べて規制が厳しくなく、指定区域を除き、国内外を問わず誰でも購入できる環境がある。行政・地域の代表者・林業事業者等が、将来の森林の在り方を考え、継続して維持していくことが重要ではないか。

農林商工課長

国土利用計画法や森林法に基づく手続きを行っている。県は、林地開発許可や事前協議が必要。

山林の売買等の規制に関しては「農地法」のような厳密な規制はされていない。

河川の除草作業

柳 河川の除草共同作業を見ていた年配から「川の中は切らんとね」と。今まで当たり前前に実施していたものが、最近はお岸中心になっている。「最近作業中の事故が多くなり危険を感じたら実施しなくてもよいと聞いている」と答えた。

建設課長

安全な作業をお願いしている。また災害防止のために、県に要望して順次河川の浚渫を実施している。



切れる部分の除草作業

ひら た えい じ
平田 英司
議員



選挙投票率の低迷改善について

平田 年々選挙投票率は低下し、特に新興住宅地域若年層が低いようだが対策は。

選挙投票率の低迷改善を

投票率向上に向けた取り組みを模索する

総務課長 選挙率向上の主な取り組みとして、20歳の集いでの啓発パンフ配付

18歳新有権者への啓発チラシ配付等、啓発活動や朝倉地域選挙管理委員会協議会で、朝倉地域高校生への主権者教育を行っている。

平田 選挙投票によるポイントインセンティブ制度を導入し投票率の向上を図るべきでは。

総務課長 本町でも可能なのか、効果がでるのか、財政面・組織体制面などを含めて、今後十分検討し投票率向上に向けた取り組みを模索して行く。

筑前クロダマル生産販売について

平田 年々生産面積、生産数量、生産者共低下傾向である、今後の方向性は。

町長 知名度も上がってきた筑前クロダマルを加工し、地域の活性化のため活用し、6次化を進める。

平田 現在の取り組み販売促進について。

農林商工課長 HP、リーフレット、メディア等を活用した情報発信、ふるさと応援寄付金での取り扱い、成人式や卒業式での煎り豆配布、みなみの里や商工会と連携した取り組みを行っている。今後、県が実施している6次化や農工商連携の支援事業等を活用した販路の開拓や商品PRを進めていく事を検討する。

町長 ブランド化を単品で進めるのではなく、筑前町のブランドとしてみなみの里で販売するすべての品は、新鮮で安全で安いブランドとし、筑前町の農業全般が、さらに活性化していく一つの手法である。

めくばーる学習館のピアノ利用について

平田 ピアノの使用料金が、1回1520円は高すぎるのでは。

生涯学習課長 ピアノを設置する段階で、購入費用、メンテナンス料等を考慮し設定している。

平田 備品を含んだ施設料金に改定を。

生涯学習課長 施設の使用料は、令和9年の使用料の改定協議の際に再度検討する。

平田 HPにて予約状況、利用状況、料金等の開示を。

生涯学習課長 HPからも公共施設予約システムで確認できる。

聴覚機能低下の早期発見について

石橋 本町における高齢者聴力検査の状況は。

健康課長 現状、町として行っていない。

石橋 役場窓口を設置している軟骨伝導イヤホンの使用状況は。

健康課長 健康課・福祉課・住民課・税務課の窓口に設置。月1、2回の利用。

石橋 軟骨伝導イヤホンや聴覚機能低下チェックを体感できる取り組みを実施できないか。

健康課長 軟骨伝導イヤホンは、窓口で試したい旨を伝えれば体感できる。また大人数での体験会は難しいが、少人数での要望があれば検討する。聴覚機能低下チェックは、「聞こえのセルフチェックシート」等を研究する。

石橋 聴覚機能低下を予防する方法等の情報を提供できないか。

健康課長 厚生労働省のHPを町のホームページにリンクすること等により周知を図る。



軟骨伝導イヤホン

RSウイルス感染症対策について

石橋 本町における肺炎対策は。

健康課長 65歳の人を対象に成人用肺炎球菌ワクチンの接種勧奨を行っている。

石橋 RSウイルスは高齢者の方に感染のリスクが高く、高齢者や基礎疾患を持つ方は重症化しやすい。本町における今後の取り組みの方向性は。

RSウイルス感染症：

RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症。

石橋 高齢者の方の健康寿命を延伸するために、RSウイルスワクチン接種費用の公費負担についての所見は。

町長 必要性が高まった段階で、町村会等を通じた国への要望活動に繋がっていく。

健康課長 新型コロナ対策で行ってきた手洗い、マスク着用等が感染予防に有効である。感染の拡大状況を把握しながら感染予防啓発を行っていく。

いし ばし さと み
石橋 里美
議員



老化に伴う聴覚機能低下の早期発見を

聞こえのセルフチェックシート等を研究していく



はら だ ひろし
原田 宏
議員



草場川桜並木の 観光認識は

原田 草場川の桜並木は知名度が上がリ、観光名所として「おもてなし」の観点からの認識を伺いたい。

企画課長 草場川の桜並木は当町の目指す「とかいなか」の一つのシンボルであり、保全し続けることが持続可能な観光であると認識している。

原田 観覧に來られた方のアンケートを実施し、その結果を伝えます。
総評は非常に桜が綺麗で、近隣にない菜の花とのコントラストが素晴らしい、来年も訪れます。
「要望として」
・観覧途中の休憩場所が欲しい。
・川の中の草が茂り、せつかくの桜の美しさが半減する。

都市計画課長 地域住民にとつて、多くのメリットをもたらすものと認識しているが、現在は、河川法等の制限があり、河川の安全確保を最優先とする必要があるため現状では厳しい。

建設課長 草場川については、地元行政区より要望があり、県に要望書を提出している。又、地元久光、上高場に河川愛護活動をお願いしている。



草場川の桜並木

町長 草場川の桜並木は川の蛇行が自然系で残り、菜の花が咲き、周辺には麦畑が広がる調和が魅力な場所です。まさに田舎の雰囲気を出すスポットでもあります。今の形を残し名所として育てる事が大事と思っている。

花いっぱい運動の休止

原田 長年活動の「花いっぱい運動（コスモスの種配布）」は休止となり、それに代わる事業の考えは。



町長 コスモスの花言葉が「調和」であり、旧夜須町の花が「コスモス」で空地、田んぼ等にまかれたのが始まり、町内に広がって現在に至っている。昨今、コスモスも色合いが薄れており、他の花等に移行する時期という思いで今回事業終了とした。さらなる魅力のある地域にしていきたいと考えている。

企画課長 本事業は祭りの時期に來場者の方をお迎えするおもてなしの心からスタートした事で環境美化の高揚に大きく寄与した事業であると考えている。

体育館の空調設備の早期実現を

体育館の空調は必要。積極的に進めていきたい

体育館の空調設備は 早急に

河内 空調設備臨時特例交付金の補助金助成が、市町村長会等の働きかけにより、令和15年度まで延長されたとはいえ、近年の地球温暖化により、年々気温は上昇している。早急な取り組みが必要と考えるが。

環境防災課長 教育課が、実施設計の委託を行っており、次年度から随時工事の計画をしている。環境防災課としては、様々な企業と協定等を結んでいるので、万が一の場合には、住環境改善に向け取り組みを行っていききたい。

かわち なお こ
河内 直子
議員



河内 子ども達の体育の授業も屋外では熱中症の危険があり、屋内の授業になると思われるが、屋根がある分、直射日光は避けられるが、室内の気温も相当高くなる。子ども達の命と健康を守る上でも早急な取り組みが必要では。

町長 体育館の空調は防災もかねて、子ども達の教育も兼ねて、地域住民の、活動の拠点としても、必要だと考えている。積極的に進めていきたい。

暮らしを改善するために 公共の再生を

河内 公共を主に担うのは国・自治体の公務員労働者だが、日本の公務員人件費はOECD加盟国で18年連続最低。能登半島地震でインフラ復旧が遅れている原因に、公務員不足がある。平時からを尋

ねる住民の暮らしを支える、公務員が少な過ぎるのではないか。

町長 公務員が多いことだけが、より公共の福祉に合致するとはいえない。財政が厳しくなればその分だけ、一般的な公共事業を縮小しなければならぬ。要は人員管理等、公共事業とのバランスだと考えている。

河内 一般公共サービス、社会保障、教育文化という公共に対しての公的支出について、日本はフランスの67%しかない。日本の公共は労働者の賃金依存度を含めた、誰もが人間らしい生活を目指していくものではないか。

町長 経済社会の考え方だろうと思うが、人口が減少している地域を見ていくとますます行政の公的な負

担が大きくなっている。国の方もいろいろな仕掛けがあるようなので、その方も見極めながら、現実に沿った形で進めていきたい。

河内 この18年間で非正規公務員は28万人も増加した。その約8割が女性だ。自治労連の実態調査によると、会計年度任用職員の55.4%が年収200万円以下で、約8割が失業への不安を感じており、地方自治体自らが貧困と女性差別を拡大している。公共の再生にあたっては、官製ワーキングプアの解消が必須と考えるが。

町長 ワーキングプアの問題は極めて深刻。格差社会が現実的に起こり得ていると思っている。会計年度任用職員の待遇改善は、今後を進められていくと思う。充分財政事情等を勘案しながらも、対応していきたい。



わたなべ さとる
渡邊 如心 園長先生



つつみ よしゆき
堤 善幸 様(田んぼ提供)

表紙は筑前町野町にある(学校法人)三輪学園 みなみ幼稚園の年長児61名と先生・保護者が参加して、毎年行っている田植えの風景です。今年は6月25日(水)小雨の中で行いました。

「みなみ幼稚園」は筑前町野町にあり、73年の歴史があり、現在の園児数は187名の幼稚園です。2003年から毎年田植えを行っており、田んぼを飯田さん(高上)→上田さん(高上)→堤さん(野町)と提供いただき、園児たちはどろんこになりながら、一生懸命に稲苗を植え、たくさんのお米がなります様にと、願いながら植えました。10月頃には稲刈りをみんなで行います。

また、別に料理研究家、鬼塚先生の指導でお味噌作りも行っています。毎年度末の昼食会(みんなと同じものを食べる機会)で一生懸命つくったお米をおにぎりとお味噌汁でいただく楽しい昼食会となっています。

みなみ幼稚園の一つの特色として毎日おうちの方に作っていただくお弁当があります。おうちの方は大変ですが幼稚園に居ながらおうちの温もりを感じられる、子どもたちを支える大切なものだと考えられています。

みなみ幼稚園のモットーは①人の喜びを共に喜び心②人の悲しみを共に悲しむ心③人の苦しみを助けようとする心です。



「高校生の プレゼンテーション」 を開催

日時…八月十一日(月) 9時～

場所…筑前町議会会議場(本庁3階)

参加者…現役高校生・町議会議員

内容…まちづくり・政治・教育等

の意見発表

今回若者との意見交流の機会として、現役高校生が筑前町のまちづくり・政治・教育・ライフプラン等について、議員参加のもと議会会議場で意見発表をしていただきます。

時代を担う若者の意見を聞きに議会傍聴へ来ませんか。

編集後記



下がることを知らない昨今の物価高騰…。中でも主食である米の価格は昨年の約倍以上という状況で、国民生活に大きな負担と不安を与えています。

このような中、今年も田植えシーズンを迎え、将来を案じながらも無事田植えを終えたところ です。

筑前町の基幹産業は農業。農業は「生命」を育む産業。その価値を高め、今年も豊作を願い、誇りをもつて汗を流していきたいものです。

(原田 邦男)

発行責任者

議長 石丸時次郎

議会広報特別委員会

委員長 池松 和彦

副委員長 原田 邦男

委員 平田 英司

委員 原口 博文

委員 原田 宏

委員 石橋 里美